

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
EU41E103	教育実践課題研究 (Themed Study of Educational Practice)					省察科目											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	4	2	教育学研究科	通年		氏名 内田昭利, 竹中真希子, 佐藤晋治, 河野晋也, 藤村晃成, 宮崎好治, 森竹啓介, 高橋徹弥											
						E-mail a-uchida@oita-u.ac.jp (授業開発・学級経営) ssato@oita-u.ac.jp (特別支援教育)											
授業の概要	本授業においては, 自らが学校実践実地研究, 特別支援学校実践実地研究 において, 自らの研究課題についての具体的な探究方策を実践し, 分析と考察を通じて検証したことを理論的に省察し, 「教育実践研究報告書」のまとめにつなげる。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	それぞれの実地研究 で実施・分析・考察・検証したことを理論的に省察することができる																
目標2	「教育実践研究報告書」のまとめにつなげることができる																
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	【実習前】																
2	・探究方策の具体化																
3	・実践準備																
4	・実習計画書の吟味																
5	・先行研究調査																
6	・文献調査																
7	【実習中】																
8	・実地研究 の1週間ごとの省察																
9	・実地研究 の1週間ごとのまとめ																
10	【実習後】																
11	・実地研究 で実施した実践の理論的省察																
12	・「教育実践研究報告書」のまとめにむけて																
13	・教育実践研究フォーラムでの報告準備																
14																	
15																	
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	演習・発表・ディスカッション				工 夫 そ の 他 の	LMS (Moodle) の活用										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	文献の精読 (5 h) , 先行研究調査および資料の収集 (10 h) , 発表資料の作成 (15 h)															
	事後学修	省察したことを整理する (10 h)															
教科書	特になし。授業中に指示する。																
参考書	特になし。授業中に指示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	複数教員による多面的・総合的評価 (受講態度, 課題に取り組む姿勢, 討論への参加等)	50%															
	教育実践研究フォーラムにおける発表, 資料など	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	内田:小・中・盲学校教員/河野:小学校教員/宮崎:小学校教員・指導主事/森竹:中学校教員・教育行政/佐藤:臨床心理士/高橋:特別支援学校教員・指導主事
実務経験を いかした教 育内容	領域専門性を活かした実習前・実習中・実習後の指導